

第2次国分寺市ビジョン等策定検討委員会（第1回）要点記録

日 時：令和5年8月3日（木）午後7時～午後8時30分

場 所：国分寺市役所 第一・第二委員会室

出席者：牛山委員長，山岸副委員長，山下委員，富田委員，田窪委員，鈴木委員，森木委員，
藤原委員，松本委員，安東委員，内藤委員，前田委員，小田委員，小柳委員

欠席者：井上委員，関口委員，出町委員

傍聴者：0人

次第

- 1 開会の挨拶
- 2 委員自己紹介（資料1）
- 3 事務局紹介
- 4 委員長・副委員長選出（挨拶）

議事

- 1 第2次国分寺市総合ビジョン等策定検討委員会の趣旨説明（資料2～4）
 - ・第2次国分寺市総合ビジョン等策定検討委員会の位置付け，役割等
 - ・国分寺市総合ビジョン
 - ・国分寺市人口ビジョン（第2版）
- 2 第2次国分寺市総合ビジョンの策定に向けた基本的方向性について（資料5）
- 3 第2次国分寺市総合ビジョンの策定について（資料6）
- 4 今後の策定スケジュールについて（資料7）
- 5 その他

（会議録）

次第

- 1 開会の挨拶
井澤市長より開会の挨拶を行った。
- 2 委員自己紹介
各委員より自己紹介を行った。
- 3 事務局紹介
事務局より自己紹介を行った。

4 委員長・副委員長選出（挨拶）

第2次国分寺市総合ビジョン等策定検討委員会設置要綱第7条第1項の規定に基づき、互選により委員長に牛山委員、副委員長に山岸委員を選出した。

議事

1 第2次国分寺市総合ビジョン等策定検討委員会の趣旨説明

事務局より資料2～4に基づき説明を行った。

2 第2次国分寺市総合ビジョンの策定に向けた基本的方向性について

事務局より資料5に基づき説明を行った。

委員：資料5の3ページの施策マネジメントシートとはどのようなものか。

事務局：施策マネジメントシートは施策評価を行うために定めた庁内の様式である。各担当課において施策マネジメントシートの作成を行い、附属機関である国分寺市行政改革推進委員会に諮問し意見を伺うとともに、庁内の会議体である国分寺市総合ビジョン等推進本部において実施状況の検証を行うことで、施策評価を実施している。

委員：現行の「国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）」は『国分寺市総合ビジョン』と統合しているが、新たに策定する「国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」はどのように整理をする予定か。

事務局：現時点では未定である。国や東京都の動向を注視しつつ、本市の実情に沿った新たな「国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の在り方を検討したいと考えている。

3 第2次国分寺市総合ビジョンの策定について

事務局より資料6に基づき説明を行った。

委員：資料6の2ページのDecidimの活用について、運用開始時期はいつを想定しているのか。

事務局：9月下旬から10月上旬の運用開始を予定している。具体的には、9月16日に第1回市民ワークショップを実施するため、グラフィックレコーディング等の資料の取りまとめを10日間程度かけて行い、10月上旬にDecidimに掲載する予定である。なお、グラフィックレコーディングは若者ワークショップにおいても実施を見込んでいる。

委員：市民ワークショップや若者ワークショップ、Decidimによる市民参加が行われるが、本委員会としては、委員会単独での意見を議論するのか、それぞれの市民参加で集約された意見を踏まえて議論するのか御教示いただきたい。

事務局：集約された市民意見を踏まえて議論していただきたい。本日の第1回委員会は、第2次国分寺市総合ビジョン等の検討に向けて『国分寺市総合ビジョン』等に関する理解を深めていただくことが主な目的であるため、事務局からの説明が多くなる。第2回以降の委員会では、市民参加により集約された市民の意見等をお示しする予定であるため、これを踏まえて議論していただきたいと考えている。

第2回委員会の実施時期及び内容は、2通り想定しており、一つ目は来年1月にパブリック・コメント実施前の基本構想の素案について議論していただくこと、二つ目

は本年11月に市民参加の実施状況や基本構想の骨子等を議論していただくことを想定している。今後、方向性が決まり次第お知らせする。

委員長：資料6の1ページの小中学生向けアンケートについて、具体的な対象者を御教示いただきたい。

事務局：市内の市立小学校及び中学校に通う、小学校6年生と中学校3年生が対象となる。国分寺市教育委員会で策定中の「第3次国分寺市教育ビジョン」に関するアンケートと併せて実施し、4問質問する予定である。

委員長：対象者数は何人を想定しているのか。

事務局：正確な児童・生徒数は本日持ち合わせていないが、住民基本台帳人口を踏まえると、いずれの年齢とも1,000人程度となっている。各小中学校でクラス数を絞って実施することを想定している。

副委員長：質問内容はどのように検討・決定したか。

事務局：国分寺市教育委員会と調整するとともに、校長会等で実施趣旨を御理解いただいた上で、市で内容を検討した。

副委員長：授業中の実施や放課後の実施等、アンケートの方法は決まっているのか。

事務局：実施方法は授業中の実施や放課後の実施等、各学校の運用に任せている。

委員：アンケートは何回実施するのか。

事務局：1回実施する。

委員：資料6の1ページの若者ワークショップについて、想定している参加者数は何人か。

事務局：参加者数は各回40~50人を目標としている。現在、市内の各学校への声掛けを行っており、併せて市ホームページ等での広報活動を進める予定である。

委員：資料6の2ページの職員ワークショップについて、第1回の実施内容はどのようなものだったのか。

事務局：国分寺市で今後推進すべきこと、新たに取り組むべきこと、8年後の都市像、キャッチフレーズをグループで話し合い発表を行った。

副委員長：市民意見の収集については、デジタルデバインドもあるため、Decidim以外にも従来どおりの紙面による市民アンケートも実施し、幅広い属性から収集していただきたい。

事務局：Decidimの活用は、本市の課題でもある若者の市政参加を念頭に置いた試行的な取組である。紙面による市民アンケートについては、来年度の秋頃、実行計画の策定の際に従来どおり実施する予定となっている。また、基本構想の策定に当たっては、パブリック・コメントを実施するため、Decidimへの参加が困難な方も意見を出していただくことができると考えている。

4 今後の策定スケジュールについて

事務局より資料7に基づき説明を行った。

5 その他

委員：次回以降の委員会についても、本日と同様に平日夜間の開催となる予定か。

事務局：御認識のとおり。第2回委員会の日程については決まり次第お知らせする。

委員長：これをもって第1回第2次国分寺市総合ビジョン等策定検討委員会を閉会する。

以上